

第14回「関西まちづくり賞」

「関西まちづくり賞」設立の趣旨と経緯

関西支部では、かつて支部長を務められた故仙石泰輔氏ならびに故田中孝男氏のご遺族からのご寄付を基金として「関西まちづくり賞」を設け、「まちづくりおよび都市計画の進歩・発展に著しい貢献をしたすぐれた成果または実績」を顕彰することにより、関西におけるまちづくりおよび都市計画の進歩・発展に資するとともに支部会員の意識の高揚をはかっています。この賞は、1998年11月の創設以来毎年その表彰を行ってきており、2011年度で14回目を数えています。

2011年度の選考と授賞プロジェクト

2011年度は、都市計画・まちづくり分野の調査・研究・設計・事業およびまちづくり活動のうち、特に、都市計画の発展に資する特色ある成果で、支部会員が直接関与もしくは推薦するものを対象とし、「新しい試み」「継続的な活動」「協働の取り組み」「他の地域で参考となる提案」の視点から評価されるものの推薦を受け付けました。

応募されたプロジェクトについて、支部内に設けられた「関西まちづくり賞委員会」が中心となって、「応募資料の審査」「現地での調査およびヒアリング」等の選考作業を行い、最終的に支部幹事会の議を経て以下の3プロジェクトが表彰対象として決定しました。

①都市農村連携による交流拠点施設「ささらい」の整備運営(兵庫県篠山市)

(受賞者 日置地区里づくり協議会、藤岡敏夫・亜樹子(芦屋ぷりん とあっせ))

このプロジェクトは、地区内の古民家(築約150年)を保全・再生した取り組みで、民間が主体となって地域の歴史的な建造物を保全活用するとともに、地域のまちづくり(里づくり)活動とのコラボレーションによって地域の活性化に寄与している事業です。

②旧二葉小学校校舎の保存再生と神戸市立地域人材支援センター管理運営(兵庫県神戸市)

(受賞者 旧二葉小学校の活用検討委員会、特定非営利活動法人ふたば)

このプロジェクトは、阪神淡路大震災後の商店街や地場産業の停滞などが続く兵庫県長田南部地域において、旧校舎の保存運動から創出された地域コミュニティが、旧校舎の保存から利活用・管理運営までを一貫して行い、地域の活性化やそれを担う人材育成を実現した取り組みです。

③市街地再開発事業から防災街区整備事業に切り替えて「身の丈に応じた再開発」を実現

(大阪府岸和田市)

(受賞者 東岸和田駅東地区防災街区整備事業組合、西松建設株式会社、株式会社石本建築事務所、大和ハウス工業株式会社、株式会社都市問題経営研究所、ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社)

このプロジェクトは、東岸和田駅東側の建物が密集した駅前エリアの再整備にあたり、市街地再開発事業から防災街区整備事業へ事業手法を切り替えたことで、まちの長年の懸案であった駅前地区の再開発事業を成功に導き、全国初となる防災街区整備事業となったものです。

表彰式およびミニシンポジウムの開催

表彰式はさる 2012 年 4 月 21 日関西支部総会に引き続き行われ、表彰状・盾の授与の後、受賞者からのプレゼンテーションと、受賞者代表・まちづくり賞委員をパネラーとしたミニシンポジウムを開催し、会場参加者を含めて意見交換を行いました。

今回の受賞プロジェクトはいずれも、地域に密着して、地域住民も積極的に参画しながら事業展開をしているもので、会場との討論では、事業の遂行プロセスにおける苦労や工夫などについて活発な意見交換が行われました。

最後に、支部としてのこのような顕彰活動を通じて、関西独自の特色あるまちづくり活動をさらに発掘し、そのような成果をもとにこれからも関西からまちづくりを発信していくことなどを確認してシンポジウムの幕を閉じました。



写真1. 受賞者からのプレゼンテーション



写真2. 受賞者を交えてのミニシンポジウム



写真3. 受賞者と関係者一同による記念撮影